

目的に応じて主体的に読み取る力を培うための指導の工夫 ～多様な図書資料を利用した国語科の学習を通して～

学校図書館教育班 木口 敦子（小学校教諭）

「目的に応じて主体的に読み取る」とは…？
・明確な読みの目的がある
・情報の取捨選択ができる
・情報を読んで理解できる

児童を変容させたい

今までの授業は・・・
教師主導型で、児童には主体的に読む姿が見られなかった。

どうしたら？
工夫

教科書教材でなく、**学校図書館の資料を教材に使ってみよう！**

・資料を自分で探す楽しさ
・友達と図書館で学び合う楽しさ

生物についての説明文を書く学習でやってみました！！

小学校3年国語 単元名「まともりやつながりに気をつけようー調べたことをもとにしてー」

目的の明確化と

学習の達成感をもたせるための工夫

自分でテーマを設定

手作り資料の活用

- ・どの児童にも資料からテーマを見いだせるように、図書資料を書き換えて作成した。
- ・学校図書館で調べられる生物のみを取り上げた。

目的の明確化「選んだ生物の〇〇が知りたい」

調べ学習の基礎的な技能の指導
国語辞典の引き方・百科事典の使い方

友達と楽しく情報交換できる場の設定
学校図書館で本を持ち寄っての学習

達成感「生物の〇〇がわかった。説明できる！」

テーマが決まると書きやすいな！
全部調べられて、うれしいな！
すらすら説明文が書けるよ！

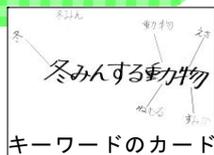


情報の取捨選択をさせるための工夫

テーマに沿った大切な箇所を見つける

- ①テーマから連想されるキーワードを話し合ってカードに挙げさせる。
- ②資料にキーワードを見つけたら、それが含まれた文が重要な情報と判断させる。

知りたいことが
見つけやすくな
ったわ



情報を正しく理解させるための工夫

説明文に書き表す学習を实践

読んだ内容を自分の言葉に置き換えて理解できる（「下級生の2年生に分かる言葉で書こう！」と投げかけ。）

〇〇のことが、とってもよく分かったから、僕の説明文を2年生に読んでほしいな！

成果と課題

この研修を通して、私は、「児童の学びの目的」「児童に付けさせたい力」を授業の中で意識するようになった。また、学校図書館を活用すると、児童の学びが主体的で楽しいものになることにも気付いた。目的に応じて主体的に読み取る力の指導の工夫は、まだまだ十分ではなく、研究の必要性がある。今後も積極的な教材開発や教材研究、指導技術の向上を心がけ、授業改善に取り組んでいきたいと思う。